

事業所防災リーダー通信 2026 Vol. 1

事業所防災リーダーのみなさまへ、防災知識や防災に関するお知らせ等を定期的に発信します。



いざという時の事業所待機、準備できてる？



大規模地震が発生した時は「発災から3日間」事業所・店舗に留まることが推奨されています。
公共交通機関が止まった状態で、大勢の人が一斉に帰宅すると道路が渋滞し、緊急車両が通れなくなるからです。また余震等による二次被害の危険性もあります。

従業員が安全・安心に事業所・店舗で待機するために必要なことを考えてみましょう。

Point! ①従業員の備えについて

事業所・店舗で待機している間、従業員は自宅へ帰れない状態が続きます。
安否確認の方法や待機が終わった後の集合場所について、従業員と家族で確認しておきましょう。

(参考) 従業員の家族間の連絡・安否確認ツール▶▶ ◎災害用伝言ダイヤル(171) ◎災害用伝言板サービス(web171)

Point! ②待機している間の生活について

普段は業務で使う場所も、待機している間は「生活の場」にもなります。
必要な物品を備えるとともに、生活のルールやお互いに気を付ける点について従業員間で話し合しましょう。



Point! ③事業所・店舗がある施設や建物について

災害の発生によって、事業所・店舗が危険な状態にある場合はそこから避難しなくてはなりません。
さらには、従業員やお客様の安全・安心を損なってしまう危険性もあります。
事業所・店舗がある施設や建物について、危険なところが無いか確認しておきましょう。

※出典元「東京事業所防災実践マニュアル」P96～P101 「4.事業所内で待機するためには」より



+α もっと知りたい方のために



◀東京事業所防災
実践マニュアルは
こちら

【東京都帰宅困難者対策ハンドブック】

帰宅困難者の対策や事業所・店舗での待機について解説しています。
<https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/bousai/1000031/1001369.html>



【帰宅困難者対策オペレーションシステム】

通勤や出張などの移動中に発災した場合は、一時滞り施設では帰宅困難者の受入を行っています。
帰宅困難者対策オペレーションシステム(通称:キタコンDX)では、発災時にLINEを活用し開設中の施設を検索・避難誘導ができます。万一来に備え、事前の友達登録をお願いします。
<https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/taisaku/topics/1000019/1029124/1030473.html>



【キタコンDX】 LINE友達登録

✓友達登録方法
・QRコードの
読み取り
・友達検索ID:
@157tdhuh

東京都からのお知らせ

東京都では、多くの事業所からの**防災リーダーの登録を募集**しています。新年度に入り、新たに防災担当になられた方もいるかと思えます。防災リーダーは、1企業や1団体1名ではなく**事業所(支社、営業所など)ごと、また、1団体に複数名も登録**できます。ぜひとも、この機会に多くの方にご登録いただき防災リーダー同士の結束を強めていきませんか。右記のQRコードを候補者の方にご案内ください。



https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/kitaku_portal/1000048/1021045/index.html